

みずどう

確かな学力、豊かな心、健やかな身体のバランスのとれた子どもの育成をめざす

令和5年3月号
尼崎市立水堂小学校
尼崎市立水堂町1丁目32-8
TEL(06)6437-3804
<http://www.ama-net.ed.jp/school/E30/index.html>

生きる力を育む

小嶋 千花

ロシアがウクライナに軍事侵攻を始めてから1年が経ちました。去年の今頃は、早く収束してほしいと願いながら、毎日、今後の動向に注視しておりました。いつの間にか夏が過ぎ、寒い冬となり、新年を迎え、そして、1年。今なお先が見えない状態です。多くの死者が出ている、とか、空爆を受けけが人数、などと聞くと、戦禍の様子が伝わり、暗い気持ちになります。しかし、もっと細かな情報、亡くなった一人ひとりの背景がわかると、つらい気持ちは一層強まります。たくさんの人、多くの人ではなく、そこには一人ひとりの人生があり、家族があり、大切に思っている人がいる。一人ひとりと向き合うと、武力では何も解決しないことを痛感します。

「新しい戦前」という言葉、どういう意味を指すのか考える時に来ていると思います。「歴史は繰り返す」よく聞く言葉です。今、改めて歴史から学ぶことの必要性を感じます。そして、それをもとに、自分はどうか考え、どう行動するのか。なかなか難しい問題ですが、大人の私達が、過去を学び、そしてどうか考え、行動するか。子ども達に背中教える必要があると思います。

水堂小学校の子ども達、基礎学力については、おおむね身につけているようです。今月中旬にはお返してできると思いますが、あまっ子ステップアップ調査の結果でもそのように出ています。一方、思考力、表現力といったところに関しては、課題が見られます。正解がある問題は積極的に取り組む姿が見られますが、正解がない問題は、手が止まってしまう。これは本校だけではなく多くの学校で見られる現象です。しかし、加速度的に変化し、既存の知識では解決できなくなるような未来においては、自分で考え、行動できる力がますます必要です。

ロシアにはロシアの言い分があり、ウクライナにはウクライナの考えがある。武力行使が行われる前に、もっともとお互いが話し合い、わかり合うことができているならば… 多様性を尊重し、自分に考えがあるように、人にもいろいろな考えがあることをもっとも実感することができていれば… 甘い考えかもしれませんが、戦いを回避できたかもしれません。今、この世界のできごとを通し、これから生きる子ども達にとって、必要な力が明確になりました。教職員一同、新たな気持ちで4月から子ども達に本当の意味での生きる力をつけてまいります。今年1年、大変お世話になりました。ありがとうございました。

3月行事予定




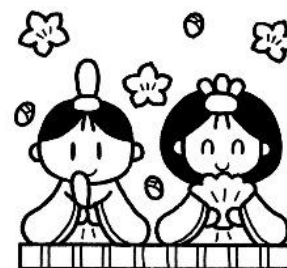
日	曜日	項 目
1	水	6年生を送る会
2	木	
3	金	ステップ漢字検定
4	土	
5	日	
6	月	朝会（感謝の会） 口座振替日
7	火	
8	水	
9	木	
10	金	
11	土	
12	日	
13	月	朝会（表彰）
14	火	
15	水	現金徴収日

16	木	給食終了
17	金	12時半下校
18	土	
19	日	
20	月	12時半下校
21	火	春分の日
22	水	卒業証書授与式（1～4年生はお休み）
23	木	12時半下校
24	金	修了式 大掃除 12時下校
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	
30	木	

4月予定

- 5日（水） 新6年生登校日
- 7日（金） 始業式、着任式
- 10日（月） 入学式
- 12日（水） 離任式





～職員より～

『感謝の気持ち』

6月に産まれた息子も3月で9ヶ月を迎えます。子どもが生まれてからは、環境の変化に対応すべく、怒涛のような日々でした。自分がこうして親となり、子どもと向き合う中で、可愛いというだけではなく、子育ての大変さや、不安、心配に思う気持ち、本当に色々な感情がありました。両親はどんな思いで自分と向き合ってきたのだろうと、親の気持ちを考えると、想像以上の深い愛情や忍耐、強さがあったものと改めて感じました。親をはじめとした身の周りの方々に、どれだけ自分たちが育てられてきたかということを考えさせられました。このような「感謝」の気付きときっかけを教えてくれた息子に感謝しています。

教師という仕事においても、自分一人の力でなしえることは一つもありません。自分が日頃関わる人たちを大切に、感謝を忘れず、目の前の一人一人の子どもたちを大切にしていきたいと思えます。

水堂小学校の皆さん、「感謝」の気持ちを大切に、日々の生活を送ってください。

4年1担任 橋本 遼太郎